

お父さん、お母さんへ

まずはじめに、お父さん、お母さん私にたくさんの愛情を注いで育ててくれてありがとう。

「何があってもお父さんとお母さんは、あなたの味方だから。」この言葉に私は何度救われてきたか、わかりません。ある日、友人に裏切られ、クラスや部活から孤立したとき、不安と悲しみでいっぱい私を支えてくれたのはこの言葉でした。どうすれば良いのか、わからない私と一緒に悩み考えてくれてありがとう。そして、一番の味方として私が間違っているときにはきちんと叱ってくれてありがとう。

「ズルいことだけは絶対にするな。」手紙を書くのにあたり、どんなことでよく怒られていたかな?考えたとき一番に思い浮かんだ言葉です。正直者が馬鹿を見るということわざがあるように、世の中には、ズルいことをして利益を得ている人もたくさんいます。真面目でいるがゆえに、ときに悔しい思いをすることやズルいことをする人に苦しめられてしまうこともあります。でも、私は、真面目にコツコツ頑張ることで得られる喜びを知っています。これは、お父さんやお母さんが、私に誠実であることを大切さを教えてくれたからです。どれだけ大変なことがあっても正々堂々と挑むお父さん、お母さんの背中が格好よくて私の憧れです。

嬉しいとき、悲しいとき、幸せなとき、苦しいとき、どんなときも私の味方でいてくれてありがとう。将来、お父さん、お母さんに教えてもらったことを忘れず、患者さんに誠実に向き合えるような医療従事者になれるよう頑張ります。

いつもは、照れくさくてなかなか言えないけれど本当にたくさんの愛をありがとう。お父さん、お母さんのことが大好きです。これからも、元気でいてください。

成人式を迎えた純佳へ

成人おめでとう。

貴女の顔を初めてみたとき、貴女は大学病院のNICUにいました。

生まれてくるとき、胎便吸引症候群という呼吸障害を起こしていたのです。

未熟児というわけではなかったため、新生児室では一際大きな赤ちゃんでしたが、保育器のなかでたくさんの医療スタッフの方に見守られた日々を過ごしました。

あれから20年、18歳で成人と呼ばれてから2年。成人式を迎えて本当に大人としての人生を歩み始めるのだと実感します。

生まれたその日から、どれだけたくさんの方に支えられ生きてきたでしょう。ご近所の方も、保育園の先生も、ファミリーサポートのおまかせさんも、小学校の先生も、ピアノの先生も、塾の先生も、そして中学校の先生も、高校の先生も。先生だけではなく、学校の職員さんもお友達のお父さんお母さんも。

貴女をいままで支え育ててくださった方を思い起こしてごらんください。

多くの方に支えられて大人になったこと、決して忘れないで。

そして、いちばん何より大切にしてほしいものは「いのち」です。

貴女が生まれるために、お父さんとお母さんの「いのち」があり

お父さんお母さんにもそれぞれお父さんとお母さんがいた。

過去をたどればきりがないけれど、6人の「いのち」が貴女を育んだからこそ、あなたはいま存在するのです。

自分の「いのち」の重みを知ることで、他人の「いのち」の重みをいつも考えられる人であってほしいです。自らの言葉や行いが他人を傷つけるものではないか、人としていつも考え、自分が他人から受けた言葉や行いを意識してください。

育ててもらったたくさんの人を思い起こして、責任ある行動をとる人生を歩んでいけますように。

貴女の親となったことを人生の喜びとする母 佳由 より